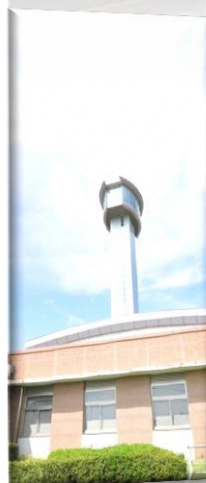


# 行田市公共施設マネジメント計画



平成 31 年 3 月  
(2019 年 3 月)  
行田市



- ・ 公共施設の情報は、2018年3月末時点の建物情報と2017年度に実施した施設所管部署への施設の調査結果を基に作成し、最終的な施設数は189施設となっています。
- ・ 個別施設の利用状況やコスト情報は2014～2016年度の過去3年間の情報をもとに作成しています。
- ・ 特に断りがない場合、「住民1人当たり」の数値は、「行田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（平成27年12月）の推計値」の人口を分母としています。
- ・ 端数処理の関係上、表中に記載の個別値と合計値が一致しない場合があります。

# 目次

## はじめに

行田市公共施設マネジメント計画について	- 1 -
(1) 計画策定の目的・位置づけ	- 1 -
(2) 計画の対象範囲	- 2 -
(3) 計画の期間	- 2 -
(4) 計画の目標	- 2 -

## 第1章 公共施設の再編について

1 公共施設の再編の必要性について	- 3 -
2 公共施設の検証について	- 3 -
(1) 公共施設の評価	- 3 -
(2) 公共施設の保有状況（施設分類別、築年別）	- 7 -
(3) 公共施設に関するアンケート	- 10 -
(4) 住民意見交換会における意見等	- 11 -
3 公共施設マネジメントの取組方針について	- 13 -

## 第2章 施設分類別の公共施設の再編について

1 目標耐用年数の考え方について	- 15 -
(1) 行田市版建替え年度の設定	- 15 -
(2) 個別施設の状況を踏まえた行田市版建替え年度の調整	- 16 -
(3) 調整後実施年度の設定	- 16 -
2 施設分類別の再編に向けた方針について	- 17 -
(1) 市民文化系施設	- 19 -
(2) 社会教育系施設	- 27 -
(3) スポーツ・レクリエーション系施設	- 31 -
(4) 産業系施設	- 35 -
(5) 学校教育系施設	- 37 -
(6) 子育て支援施設	- 43 -
(7) 保健・福祉施設	- 49 -
(8) 行政系施設	- 57 -
(9) 公営住宅	- 65 -
(10) 公園	- 69 -
(11) 供給処理施設	- 75 -
(12) その他施設	- 77 -

## 第3章 地域別からみる公共施設の再編について

地域別の再編に向けた方針について	- 80 -
(1) 中心部地域	- 80 -
(2) 西部地域	- 86 -
(3) 北部地域	- 91 -
(4) 南東部地域	- 100 -

## 第4章 公共施設の維持保全について

1 公共施設の維持保全に向けた考え方について	- 106 -
(1) 点検診断の実施に関する考え方	- 106 -

(2) 長寿命化の対象施設の選定基準.....	- 107 -
2 年度別の対策費用について.....	- 108 -
(1) 既存施設を全て維持、更新する場合の将来更新等費用の試算結果.....	- 108 -
(2) 本計画を実施した場合の将来更新等費用の試算結果.....	- 109 -

## 第5章 計画の推進に向けて

1 計画の推進体制の確立について.....	- 110 -
2 個別施設計画の策定について.....	- 110 -
3 個別施設の方針の実現に向けたアクションプランについて.....	- 110 -
4 施設分類別の対策内容と想定時期について.....	- 111 -
(1) 市民文化系施設.....	- 111 -
(2) 社会教育系施設.....	- 112 -
(3) スポーツ・レクリエーション系施設.....	- 112 -
(4) 産業系施設.....	- 112 -
(5) 学校教育系施設.....	- 113 -
(6) 子育て支援施設.....	- 114 -
(7) 保健・福祉施設.....	- 114 -
(8) 行政系施設.....	- 115 -
(9) 公営住宅.....	- 116 -
(10) 公園.....	- 117 -
(11) 供給処理施設.....	- 119 -
(12) その他施設.....	- 119 -
5 PDCAサイクルによる進行管理について.....	- 120 -
6 (仮称) 公共施設整備基金の検討について.....	- 120 -

## 附属資料

1 人口動態.....	- 1 -
(1) 本市における人口減少対策の取組に基づく将来人口推計.....	- 1 -
(2) 市全体の人口構成.....	- 2 -
2 財政状況.....	- 4 -
(1) 歳入状況.....	- 4 -
(2) 歳出状況.....	- 5 -
3 各施設（施設分類別）の利用実績の推移.....	- 6 -
4 行田市公共施設マネジメント計画策定プロセス.....	- 18 -
(1) 公共施設に関する市民アンケートの結果.....	- 18 -
(2) 市報ぎょうだによる情報共有.....	- 26 -
(3) 行田市公共施設マネジメント庁内検討委員会開催記録.....	- 28 -
(4) 住民意見交換会会議録（実施地区順・抜粋）.....	- 32 -
5 公共施設将来更新等費用試算の考え方.....	- 71 -
6 個別施設計画策定ガイドライン.....	- 73 -
7 公共施設マネジメントに関する国の通知等について.....	- 77 -

# はじめに

## 行田市公共施設マネジメント計画について

### (1) 計画策定の目的・位置づけ

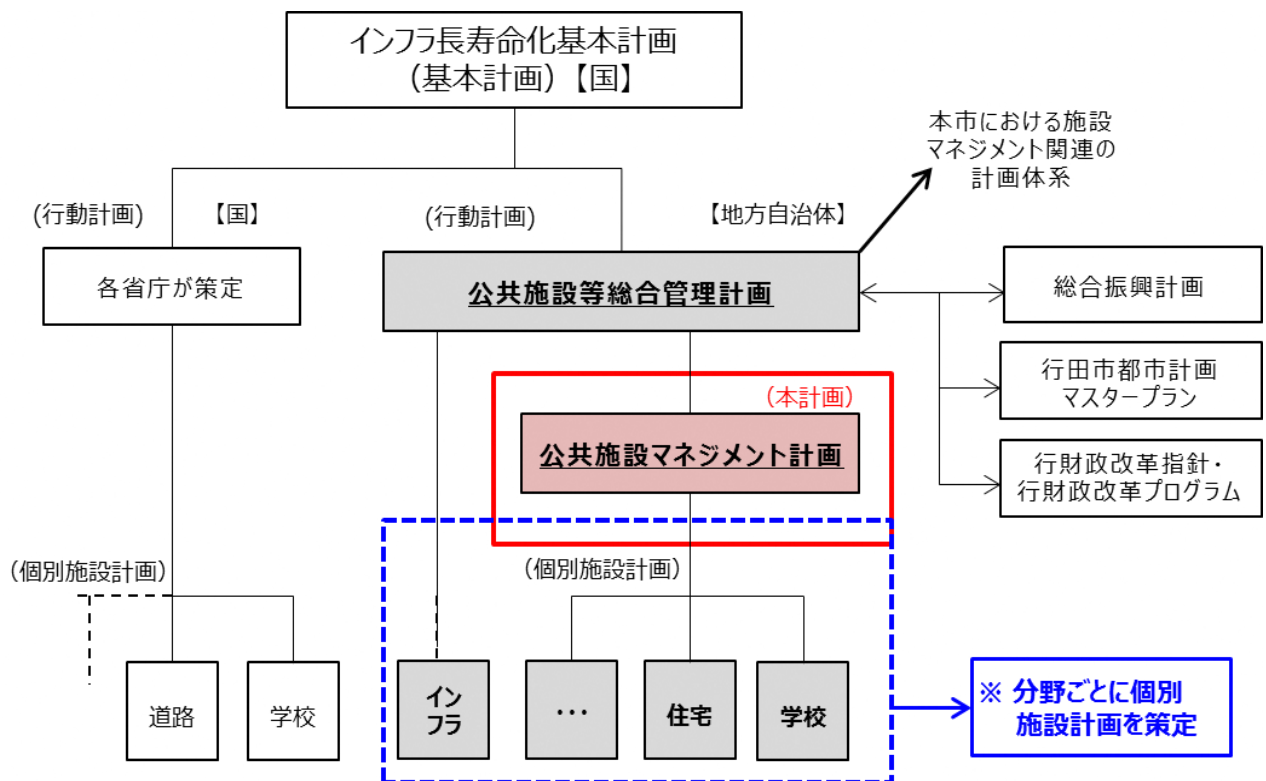
本市では、2016年3月に「行田市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。

総合管理計画は、本市が保有する公共施設等の全体像を把握するとともに、公共施設等を取り巻く現状や将来にわたる課題等を客観的に整理し、「行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の考え方を踏まえ、さらに長期的な視点をもって公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することを目的としており、2055年度までを計画の期間としています。

行田市公共施設マネジメント計画（以下「本計画」という。）は、総合管理計画の下位計画であり、総合管理計画に掲げている各公共施設の再編に向けた具体的な方針を示すとともに、本計画の方針に基づき今後策定を進める個別施設計画（長寿命化計画）と総合管理計画を繋ぐ計画として策定するものです。

また、一部の公共施設については、本計画を個別施設計画として捉え、本計画の再編に向けた方針に基づく取組を進めます。

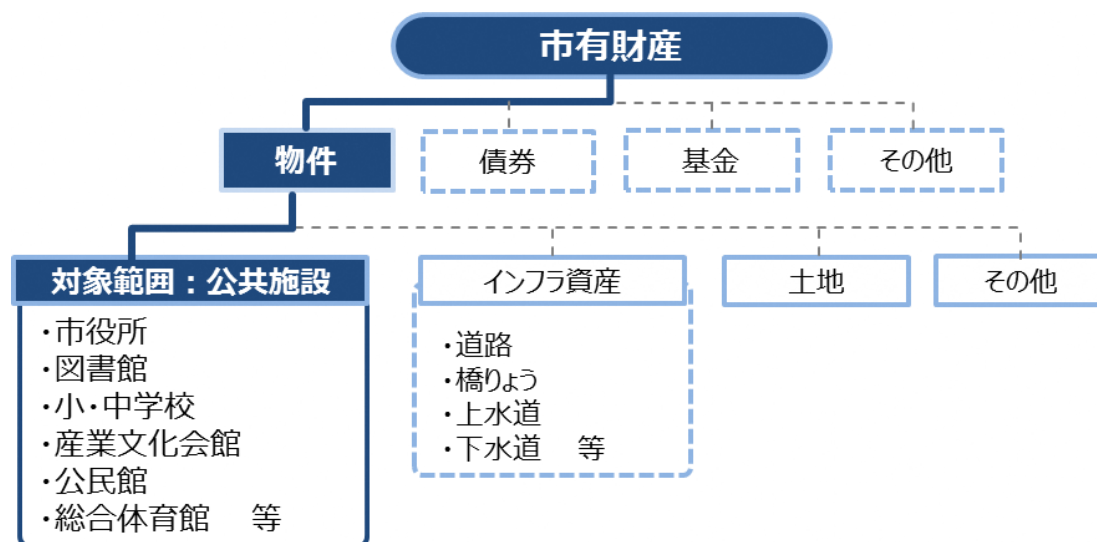
図表1：本計画の位置づけ



## (2) 計画の対象範囲

本計画の対象範囲は、市有財産の物件に分類される公共施設とします。  
道路や橋りょう、上下水道等のインフラ資産については、別途分野ごとに個別施設計画（長寿命化計画）の策定を進めます。

図表 2：本計画の対象範囲



## (3) 計画の期間

本計画の期間は、公共施設の更新等が集中する時期や中長期的な視点による公共施設の計画的な管理運営の必要性を踏まえるとともに、総合管理計画における計画期間（2016年度から2055年度までの40年間）との整合を図り、2055年度までとします。

また、取組の時期を具体化するため、計画期間を4期（第1期から第4期）に区分しています。

### 本計画の期間：2055年度まで

第1期：～2025年度（2018年度末時点で残り7年）

第2期：2026年度から2035年度（10年間）

第3期：2036年度から2045年度（10年間）

第4期：2046年度から2055年度（10年間）

## (4) 計画の目標

総合管理計画では、人口、財政、施設の3つの分野における課題を整理し、課題解決に向けた4つの取組目標を設定しています。特に、公共施設の今後40年間の更新等費用の試算が1,041億円と1年あたりの負担額が過去2年間の投資水準の約1.4倍になることを踏まえ、「40年間で公共施設の保有量（延床面積）を約27%削減していく。」ことを目標としており、本計画では、この目標の達成に向け、必要な施設の再編を推進するとともに、単年度における投資の平準化を図ります。